

「にっしいアグリインフォメーション」で営農情報をお届けします

当JAは、営農に関するより詳しい情報をお届けするため、「にっしいアグリインフォメーション」を令和2年4月から発行しています。主に認定農業者や集落営農組織、旬彩蔵出荷会員の方を対象に配布し、今年度は3か月ごとに発行。次号は令和3年1月を予定しています。

創刊号では、水稻育苗およびライスセンターの利用奨励など、管内農家の支援につながる還元施策について紹介したほか、当JAが推奨する小豆栽培や旬彩蔵の動向などを掲載。旬彩蔵の売れ筋動向を毎回ご紹介することで、今後の出荷計画に結びつけていただきたいと思います。また、7月号では当JAが実施する補助事業や、農業塾「アグリドリーム」の受講生募集、そして最新の10月号では、「アグリドリーム」の実施状況のほか、令和2年産米仮渡金（JA兵庫西独自の特別支援を含む）などを掲載しました。

今後も「にっしいアグリインフォメーション」では、旬彩蔵の動向やJAが取り組む農業に関する助成金など、生産者の皆さまに有益な営農情報を提供できるよう努めます。同紙は当JAのホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください（トップページの営農情報「アグリトピックス」をクリック）。



農作業ひとくちメモ

家庭でできる簡単な防寒対策

晩秋から春先までの寒い季節は冬枯れする作物が多く、収穫できる野菜は限られてきます。そこで、寒い時期でも新鮮な野菜が収穫できるよう、防寒対策が必要です。

簡単なのは、農業用の寒冷紗や不織布をトンネル状に覆う方法です。また、塩化ビニールなどでできた被覆フィルムをトンネル状に覆えば、寒冷紗よりも日中の温度上昇がよくなり、さらに高い保温力が得られます。ただし、日中の温度をあまり上げ過ぎないように、フィルムに穴をあけたり、裾を上げたりして換気することも大事です。

低温性のコマツナやシュンギク、ホウレンソウなどは保温することで、通常の露地栽培よりはるかに生長がよくなり、冬でも品質が良く収量も多くなります。

